

ARCO-116 20181022

鴻巣荒川土手

コスモスウォーキング

新宿駅4番線ホームの湘南新宿線高崎行
9時44分発の6号車に乗り、約1時間。
電車は鴻巣に、そして北鴻巣～目的地である
吹上駅に定刻9時47分到着。

今回のウォーキングには、鴻巣市観光協会の主催する観光ガイド会長である村井さんが、案内をして下さることになっている。村井さんは、吹上駅の改札前で待っていてくれた。挨拶もそこそこに、吹上駅西口駅前広場からタクシー2台に分乗し、荒川に架かる日本一長い水管橋の手前で降車。

この水管橋は、利根川から熊谷方面へ水道を送るためのものとのこと。橋を渡れるのは、コスモスフェスティバルの2日間のみで、今年は10月27(土)と28(日)となっている。



日本一長い水管橋



水管橋銘板

水管橋の川下南側には広大なコスモス畑が広がっている。河川敷6.8ヘクタールに1000万本程のコスモスが咲き誇っている。コスモスフェスティバルの開催の1週間前ではあるが、相当の花をつけてくれている。



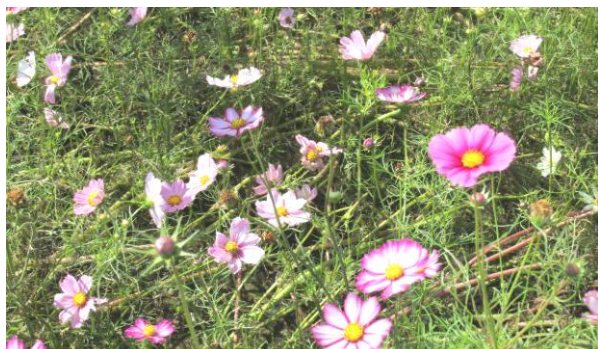
コスモスと水管橋



ピコティ畑

今年は、度重なる台風が日本列島を縦断した。ここ鴻巣でも強風が吹き荒れたそう、コスモスはなぎ倒され、真っ直ぐ空に伸びることができず、倒れた状況から、再び伸び上がろうとしているのだけれど1mほどの丈に生育するのは難

しく、花の高さは半分程の50cm位になっている。それでも中には、台風にめげずに真っ直ぐに伸びている強者も所々に見られる。



台風で腰折れて横に這うコスモス



台風に負けずにまっすぐに伸びたコスモスも

例年ならコスモス畑内にラビリンス（迷路）を設けるのだそうだが、低め開花の状況では見通しが良過ぎるため今年は止めているとのこと。

コスモスにも色々な種類があり、一般的なピンク・白・赤の入れ混じったセンセーション。黄色もしくはオレンジ色のキバナコスモス。八重咲のブライトライトなどが、区域を定められて咲き誇っている。さすがにチョコレートコスモスは、脆弱なためか仲間に入れてもらえていない。



キバナコスモス



もう水管橋はおぼろげに



ブライトライト畑



八重咲がブライトライト

コスモスと遠方に長く繋がる水管橋の真っ赤なアーチとが良くマッチしている。



記念写真=WINGSと村井さん・バックに水管橋

荒川土手は、ここ鴻巣市内糠田橋先で日本一の川幅（約2300m）となるのだが、その理由はこの地域を調整池として機能させるため、そのおかげで都内では簡単には氾濫しないで済むように計画されているとのこと。荒川の流は川際の樹林の西側先に有り、土手からは川の存在を感じることは出来ない。それほどに河川敷は馬鹿っ広い。



都内までの距離表示=66.8km

川西側のずーっと向こうに、今日は霽っているために見づらいのだけれど富士山の頂が雪に覆われて真っ白になっているのが、ぼやけはいるものの見ることが出来る。

土手を登りコスモスアリーナという名のスポーツセンター横の馬ノ背状の土手頂部にアスファルト舗装された道をウォーキングする。車は走れないよう所々に、

ゲートが設けられ、サイクリング道路として認められている。ロードランナータイプの自転車が、結構なスピードで通り抜けて行く。



コスモスアリーナ=スポーツセンター

河川敷に一人乗り極軽飛行機の飛行場があり、芝生で覆われた滑走路が僅か180m程・事務所か休憩所替りの小型バスが置かれている。小さな吹き流しが、飛行場であることの証明である。利用されるのは、休日だけらしい。名称は東京フライングクラブ飛行場。河川敷の飛行場としての使用許可されているようだ。



ウルトラライトプレーン用の飛行場（んたーねっとより）

台風時に河川敷が水浸しになったことを証明するかのように、所々に池と言うか沼と言うべきか迷う程の水溜りがまだ残っている。



台風後の水溜り

同じように、水溜りがあるのだが、こちらは戦国時代の出城跡とのこと。河川敷に城を築いたなんぞと言うことは聞いたことがない。バトルフィールドとしての河川敷での砦的なものだったのではなかろうか。名称は小谷城とされている。もっとも現在の荒川は、旧荒川の流れを変えているので、城の有ったところは平地であったのかも知れない。旧荒川は、元荒川として鴻巣市東部を流れている。



小谷城跡地

今歩いているのは、荒川左岸。左岸の土手下から広がっている平地は、土手が低かったところには氾濫で覆われることも有ったらしい。東側の田んぼには、すでに刈り取られ茶色の地面に刈込後が見えるところと、まだ刈り獲っていないところが有り、稲の黄色い大きな座布団が所々に残っている。



稲の刈り取りが済んでいない田んぼは黄葉？

4反部程刈り取った後に水を入れて、「冬水田んぼ」とする区画が有り、冬になるとシベリヤからオオハクチョウが飛来するとのこと。



今年2月の飛来状況（インターネットより）

土手下近くに寶勝寺が見下ろせる。



寶勝寺

長く続く馬の背道路に、バッタが休憩していた。親子？つがい？



トノサマバッタ

ウォーキングの予定は、川下の糠田橋までとしていたが今日の天候は良過ぎて夏日に近い。何度か水飲み休憩を入れたのだが、足・膝・腰に疲れを感じる。

糠田橋は、見えてはいるがなかなか近付いてくれない。同橋上から荒川の流れを見たいと思っていたが、この辺でウォーキングを切り上げたくなった。



下流の糠田橋遠望

荒川の流れを見たい欲望を多少とも満たしてくれたのが、武蔵水路である。この水路は利根川の水を荒川に流下するもので、この地で荒川土手をくぐり河川敷を跨ぎ荒川に流れ込む。国会議員 K 氏の尽力によるのなのだそう。



武蔵水路、流れの先は荒川

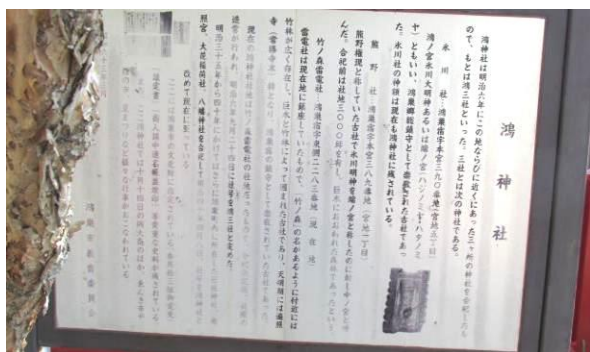


武蔵水路銘板

ここ先でタクシーを呼び、鴻巣へ移動することにする。タクシーの行き先は、中仙道沿いの鴻巣駅近くの鴻神社前。周辺の三社を集めて一体としていて、鴻巣三社とでも呼んで良いのかも知れない。コウノトリが飛来し、営巣していたことから安産・子授け祈願が最も効果があると。本日のウォーキングの安全お礼参りは欠かせない。雷電神社もこの境内に祀られている。



鴻神社



鴻神社由来案内



4尺玉花火(インターネットより)



鴻神社の歴史



鴻巣駅東口

ここから鴻巣駅までは、ざっと徒歩で20分弱。町中を歩き駅前広場へ。

駅前広場には、コウノトリが雛に餌を充えているシェイプが15m程のポールの上で羽を広げている。



コウノトリ

もう一つ、額田橋で模様される花火大会の日本一の大きさを誇る4尺玉と打上げ筒とが展示設置されている。今年は、10月13日(土)に大迫力の枝垂れ玉が打上られている。

駅構内コンコースを渡り東口にある「重天」にて昼食を。天井を食べながらのランチ休憩。メンバー皆疲れている?…。



ランチ：重天にて

食べ終わってから次回紅葉ウォーキング計画を来月11月の定例会で練こととし、**高幡不動の紅葉ウォーキング**とすることを協議・確認。

ランチ後鴻巣駅に戻り改札にて14時解散。全行程10,000歩程。コスモス畑を通り過ぎてからは少々単調で、ま

さにウォーキングそのものであった。

荒川河川敷の広大さが、東京都内での
氾濫を防いで呉れていること。ガイドを
親切にして頂いた村井さん。そして一緒
にウォーキングを楽しんでくれたW I N
G Sの仲間。台風に負けずに頑張ってい
るコスモスに感謝させて頂いた。

今日も有難うございます。

20181022
suginami WINGS
JUSTing

鴻巣荒川土手コスモスウォーキングの案内

 **集 合: J R 高崎線吹上駅 9:57**

■ **ルート:** JR 荻窪駅 8:22 ~ 新宿 8:35 湘南新宿ライン快速高崎行きに
乗り換え 8:44 ~ JR 高崎線吹上駅 9:57 (¥1,144)
10:05 吹上タクシー(¥1500 x 2台) ~ 水管橋

■ **ウォーキング:** 約12000歩 約4.5km 約2時間 程度?

水管橋 10:05 ~ コスモス畑 ~ コスモスアリーナ 10:25 ~ 糠田橋 12:00
12:10 タクシー(¥1500 x 2台) ~ 鴻神社 12:20 ~ 鴻巣駅 13:00

■ **屋食&ティータイム:** 天ぶ羅重天 13:05 ~ 13:55 (鴻巣東口)
048-598-5430 鴻巣駅にて解散 14:00

■ **メンバー:** 加治・内布・安保・佐々木・友谷・JUSTing & 村井ガイドさん

 **6.3haの敷地に1,200万本のコスモス**

 **さっぱりした味で美味しく食べられます**

荒川土手コスモス
「センセーション混合」、「キャンパスイエロー」、
「ピコティ」、「シーシェル」、「ブライトライト
混合」など、多品種のコスモスの種を蒔きました。
10月中旬から下旬には、約1,200万本のコスモスをお
楽しみいただけます。近くには日本一長い真っ赤な
アーチの水管橋、遠くには秩父連山や富士山まで見渡
せる、絶好のおすすめスポットです。
観光協会ガイド 会代表 村井会長が案内して下さいます。